

指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名：子ども・福祉部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県視覚障害者支援センター(津市桜橋二丁目131番地)
指定管理者の名称等	社会福祉法人三重県視覚障害者協会 会長 児玉千春
指定の期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・点字刊行物及び視覚障がい者等用の録音物を利用に供すること。 ・点訳及び音訳のボランティア活動の育成及び支援に関すること。 ・視覚障がい者の日常生活及び社会生活に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び支援を行うこと。 ・センターの施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務 ・その他センターの管理上必要と認める業務

2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H28	B		機器の管理や点検を定期的に行い、適切な施設管理を行うとともに、不要となった物品の整理・廃棄と、物品の再配置を行うなど、環境整備に努めており、管理業務を支障なく実施している。
H29	B		
H30	B		
R元	B		
R2	B		

3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H28	A		成果目標である図書の貸出数と生活訓練参加者については、平成29年度の図書貸出数がわずかに目標を下回ったものの、それ以外は目標を達成しており、また、各種講習会の開催やボランティアによる利用等、積極的な利用の促進が図られている。
H29	B		
H30	B		
R元	B		
R2	B		

4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	231,104,000	事業費	49,970,241
利用料金収入	0	管理費	181,142,067
その他の収入	35,289	その他の支出	0
合計 (a)	231,139,289	合計 (b)	231,112,308
収支差額 (a)-(b)	26,981		

※参考

利用料金減免額	—
---------	---

5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標及びその実績						
			成果目標項目	目標値	H28実績値	H29実績値	H30実績値	R元実績値	R2実績値
H28	B		図書等貸出数	80,000	78,209	75,250	83,566	88,843	97,750
H29	B		生活訓練参加者数	500	458	580	472	602	527
H30	B								
R元	B								
R2	B								
全期間におけるコメント									
<p>図書の貸出数と生活訓練参加者については、平成29年度の図書貸出数がわずかに目標を下回ったものの、それ以外は目標を達成している。</p> <p>また、指定管理者が独自に設定した達成目標の達成率は5年平均で約70%である。特に点訳・音訳の奉仕員養成講座は参加者増加の取組がより一層求められる。</p>									

6 総括評価

<p>・点字図書館業務については、平成29年度に成果目標を僅かに下回ったものの、それ以外の年度では成果目標を達成している。</p> <p>・視覚障がい者の日常生活及び社会生活に関する支援として、個々のニーズに応じた生活訓練を実施し、視覚障がい者の社会参加の促進に取り組んでおり、成果目標を達成している。</p> <p>・小中学生の見学受け入れや、小中学校への訪問活動、「夏休み盲導犬体験教室」などにより、視覚障がい者福祉への理解促進を図るとともに、人権尊重社会の実現のための普及啓発を行っている。</p> <p>・視覚障がい者が日常生活を送るうえで重要性が増しているIT機器について、サポーターの養成を行うとともに電話、来所等で相談や指導を行っている。</p> <p>・点訳・音訳奉仕員の養成講習については、指定管理者が自主的に設定した修了者数の目標の達成には至っておらず、受講者の確保に努め、奉仕員の育成を図る必要がある。</p> <p>・図書等については、近年貸出数が増加しており、視覚障がい者への情報保障の面からも、サピエ図書を含め、蔵書の充実が求められる。</p> <p>以上のことから、三重県視覚障害者支援センターの指定管理者として適切に業務を実施し、施設の設置目的である「視覚障がい者等の福祉の推進」に向け、全期間を通じて適切に取り組んでいると評価できる。</p>
--

- ※ 「2 管理業務の実施状況」の自己評価 :
- 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 業務計画を順調に実施している。
 - 「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
 - 「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
- ※ 「3 施設の利用状況」
「5 成果目標及びその実績」の自己評価 :
- 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 当初の目標を達成している。
 - 「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
 - 「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
- ※ 県の評価 :
- 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
 - 「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
 - 「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。